

【資料3】

日本ディスクロージャー研究学会第16回研究大会プログラム

2017年12月16日(土)～17日(日)

法政大学・市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート

第1日目：2017年12月16日(土)

■**会員総会** (12:30～13:30)

■**役員選挙**

■**統一論題シンポジウム** (14:00～16:45)

テーマ「税務行動とディスクロージャー研究のあり方」

モデレーター：奥田 真也 (名古屋市立大学)

パネラー

大沼 宏 (東京理科大学)

阪 智香 (関西学院大学)

村上裕太郎 (慶應義塾大学)

■**学会賞受賞記念講演** (17:00～18:00)

司会：吉田 和生 (名古屋市立大学)

講演者

石川 博行 (大阪市立大学)「配当研究の回顧と展望」

■**懇親会** (18:00～20:00)

第2日目：2017年12月17日（日）

■自由論題報告（1）（10：00～11：30）

○第1会場

司会：大鹿 智基（早稲田大学）

第1報告 「The Need for Speed: A New Construct of Management Forecast Revisions in the Auditing Context」

David Lau（University of Auckland）

第2報告 「Do Managers of Non-Profit Organizations Focus on Information Disclosure as a Management Policy?: Evidence from the Survey Research」

榎本 芳人（千葉商科大学）

第3報告 「日本企業の財務諸表エラー分析－ベンフォードの法則（Benford's law）を用いて－」

金 鉉玉（東京経済大学）

○第2会場

司会：海老 原崇（武蔵大学）

第1報告 「会計発生高とアナリストによるキャッシュ・フロー予想の公表」

森脇 敏雄（広島経済大学）

第2報告 「わが国におけるレピュテーション効果の検証」

太田 浩司（関西大学）

第3報告 「経営者交代と業績予想」

石田 惣平（埼玉大学）

■会長講演（12：30～13：30）

司会：奥村 雅史（早稲田大学）

会長

薄井 彰（早稲田大学）「ディスクロージャーの理論と実証」

■自由論題報告（2）（13：45～15：15）

○第1会場

司会：榎本 正博（神戸大学）

第1報告 「経営者能力と業績予想の難しさが業績予想の精度に与える影響」

張 姣（近畿大学）

第2報告 「非支配株主持分に係る会計処理に関して－全部のれんを題材として－」

山田 和宏（横浜国立大学）

第3報告 「自信過剰な経営者と利益調整」

大沼 宏（東京理科大学）・石黒 武秀（東京理科大学）

○第3会場

司会：木村 史彦（東北大学）

第1報告 「相対取引需要に基づく割引の公開買付による自社株買い」

河瀬 宏則（九州産業大学）

第2報告 「機関投資家の議決権行使個別結果のデータ分析」

円谷 昭一（一橋大学）

第3報告 「商標権情報の価値関連性：株価と財務特性にブランドイメージが与える影響」

竹原 均（早稲田大学）